

鑑付機

SM-I

取扱説明書

改訂履歴
第1版 2020年7月15日

apus株式会社

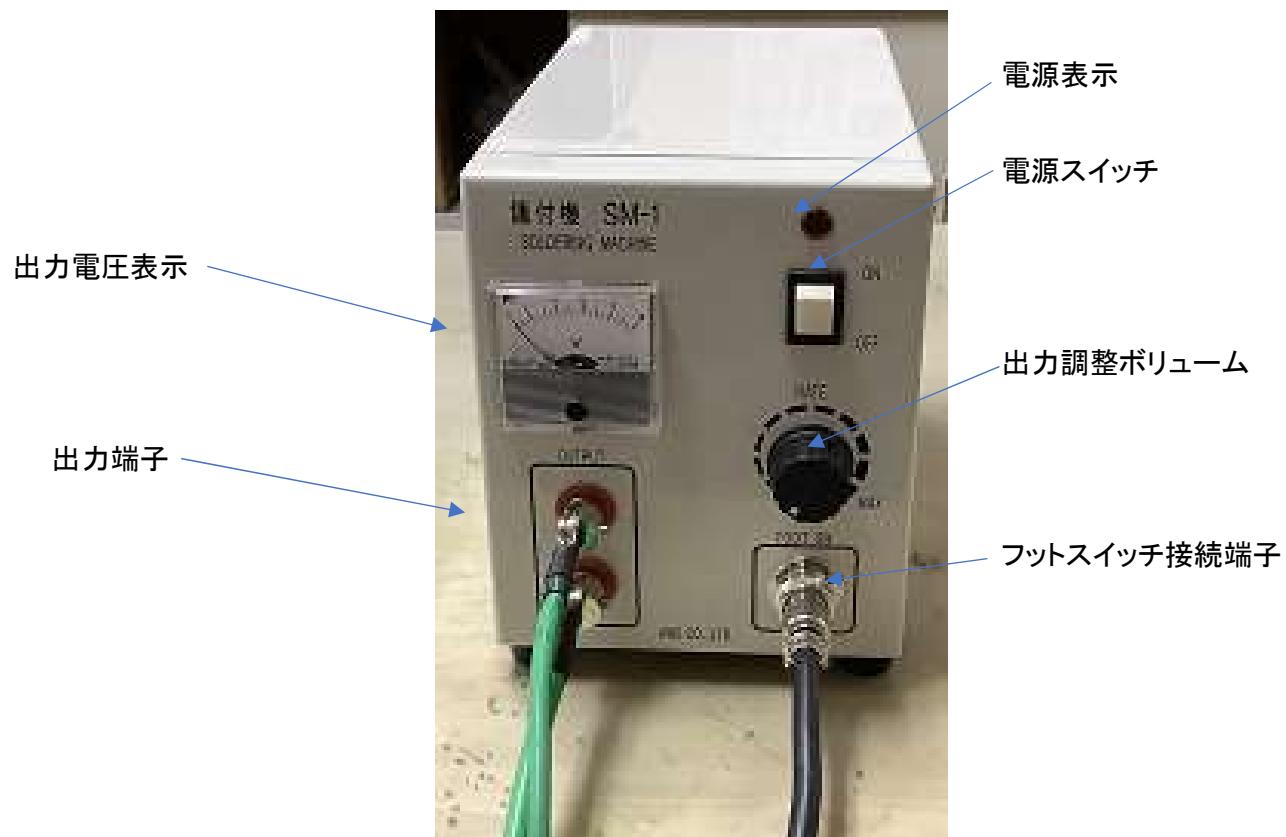
この度は鑑付機 SM-1をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は手元に置いてご使用ください。

1 特徴

- ・ 現行機種 S-IIIに対し、鑑付専用として大幅な低価格化を実現しました。
- ・ クラスプとバーの鑑付け、金属床とバーの鑑付作業が安全かつ簡単に出来ます。
- ・ 金属床の修理、バー破損の修理が簡単に出来ます。
- ・ 出力電圧の表示により、ボリュームのパワー設定が簡単に出来ます。

2 各部の名称



鑑着力一ボンホルダー



フットスイッチ



鑑着クリップ



クリップスタンド(固定台)



3 設置・準備

- ① 高温、高湿でない安定した場所に置いてください。
- ② 電源コードを許容電流10A 以上のコンセントに接続し、アースを接続します。
- ③ フットスイッチを接続端子に接続します。
- ④ 出力端子の上側に鐵着カーボンホルダー、下側に鐵着クリップをネジ止めします。
- ⑤ 必要に応じて、被金属材を固定するためのクリップスタンドを用意します。

4 鐵着方法

4-1 操作手順

- ① 電源スイッチを入れ、電源表示ランプの点灯を確認します。
- ② 被金属材をクリップスタンド等で固定し、片側に鐵着クリップを接続します。
- ③ 電圧表示を確認しながら、出力調整ボリュームを回し、適切な電圧に設定します。最初で分からぬ場合には約4V 位に設定しておきます。
- ④ 被金属材の反対側に鐵着カーボンホルダーの先端を当てます。
- ⑤ フットスイッチを押している間、被金属材に電流が流れ赤熱し、鐵着されます。
- ⑥ 作業が終了したら、電源スイッチを OFF にします。長時間使用しない場合は AC プラグを抜いておきます。

4-2 鐵付けのポイント

- ① 鐵付けの箇所には鐵材を仮着するか又はのせる。(鐵材は適当な大きさに切っておく。)
・金鐵、銀鐵、その他必要とする鐵材の上に少量のフラックスを塗布する。なるべく濡れたペーストがよい。
(乾燥したら少し水をつけると通電しやすい。)
・カーボン電極の先端及び被金属材の表面にフラックスが付いて赤熱しないことがありますので、その時はヤスリ等で削ってください。
- ② 仮着された箇所にカーボン電極をつけて、フットスイッチを踏む。赤熱の度合いを見ながら、ボリュームを調整し、フットスイッチを操作して、被金属材を加熱する。
- ③ 加熱は一箇所を加熱するのではなく、鐵材の溶け具合、赤熱状況を見てカーボン接触位置を移動させる。
- ④ 被金属の大きさ、材質等によって、赤熱と鐵材の流れの最適点を見いだします。何回か実験して経験していくと分かります。
- ⑤ 金属床のピンホールの修理は、同じ金属の小片を乗せて穴を塞ぎ、カーボン電極を当てて流鐵する。
- ⑥ クラウン等の鐵材による肉盛り及びピンホールの補修を行う場合は、肉盛り部分に鐵材を仮着するか又はのせて、上記の要領で鐵付けを行う。(鐵材は適当な大きさに切って、鐵付けする箇所に仮着)
- ⑦ フラックス及び鐵材の良否が、電気鐵着の場合には特に重要です。特にフラックスによっては酸化膜を作ってしまい、鐵が流れないことがあります。電気鐵着に適したフラックスを使用してください。

5 使用上の注意

- ① 作業中、作業後は被金属材、電極が高温になっているので、火傷や火災に充分注意してください。
- ② 作業中h金属、火花などが飛散する場合がありますので、保護メガネなどをしようしてください。
- ③ 感電防止のため、アースを接地してください。

6 お手入れ・保守

- ・ カーボン電極の先端にフラックス等が付いている場合には、ヤスリなどで削ってカーボンを露出させてください。
- ・ カーボン電極は先端が消耗し丸くなったら、ヤスリ等で尖らせ、さらに短くなり、接触し難くなったら交換してください。

7 仕様

- ・ 電 源 : AC100V 6A 50／60Hz (ヒューズ 10A)
- ・ 大 き さ : W125×D220×H165mm (把手、ネジ等の突起物を除く)
- ・ 重 量 : 6. 5Kg
- ・ 使用環境 : 温度 -5~35°C 相対湿度 95%以下

8 付属品

取扱説明書	1	カーボン電極	5 (消耗品)
保証書	1	軟質ステンレスワイヤー	1 (消耗品)
フットスイッチ	1	クリップスタンド	1
鎌着カーボンホルダー1			
鎌着クリップ 1			

9 保証、その他

- ・ 保証期間内(通常、購入日から1年間)にお客様の正常な使用で、万一故障が生じた場合、保証書の記載内容の範囲で無償修理いたします。ただし消耗品は保証できませんのでご了承ください。
- ・ 本器は鎌付け専用です。他の用途には使用しないでください。
- ・ お客様自身でのこの製品の修理、分解、改造はしないでください。
- ・ 故障の際は、お買い上げの販売店にお申し付けください。修理は製造元の工場にて行います。
- ・ 本モデルの製造中止後、7年以上経過している場合には修理できないことがあります。
- ・ 本製品の仕様は改良その他の事情により予告なく変更する場合があります。

<製造元>

アウス株式会社

〒179-0084 東京都練馬区氷川台 4-2-1

電話:03-3935-9221 FAX:03-3935-8118